

文芸 六ふたせ

短歌

【石瀬短歌会】

家族とはいかなるものかと繰り返し嘆
く老いあり冷たき秋の日

広沢 日出子

天からの恵みを受けて葉が茂り秋いつ
せいに咲く彼岸花

児玉 廣子

指の間に生るる紫煙しんえんのさきの空見つつ
ころろは自在にあそぶ

瀧井 幸子

汚いもきれいもあるか爆弾に 誰にも
たった一つの命だ

鈴木 英雄

散歩みちびよーんとイナゴが足元へ
「生きていますねお互いわれら」

久保 悦子

馬頭琴の音色さびしくモンゴルの馬の
話の読み聞かせする

大関 登志子

発破音響きいし辺りの山々は紅葉の奥
に静かに眠る

雨谷 友子

なにげなく声かけくるる駅員に墓参に
来たる心やすらぐ

古賀 澄

ひつじ田に五歳の吾子とキャッチボー
ルしたる日なつかし今日の青空

大久保 富美江

「もつてのほか」はもつてのほかにかに美
味しくて嫁も孫らも喜びて食す

渡辺 しな子

今を盛りと香気ただよう大菊は冠のご
とき黄金かかげて

泉 三郎

確かめてひと足ごとに踏みしめる老い
の歩みはたどどとして

川崎 邦子

堀りあげし里芋一家は親子、孫、孫子、
孫孫つらなりており

瀧田 勇

「また女か」次女を生みたる秋の日に
姑が言いたるひとこと忘れず

浜野 和操

ワンピースのことかわたしか「可愛い
い」と言われし夏の更紗模様は

小林 美瑛子

俚謡

【やぐら俚謡会】

陛下誕生節分迎え齢を重ねて増す権威
山もみじ

春はそこまで来ているけれど外は筑波
の空の風

花野 しぐれ

二十五年で人生区切る私もとうとう冬
に入る

みーちゃん

雪踏む音まで聞こえるこたつ夫婦も無
口な齢になる

稲葉 建正

夢と希望の青春時代美酒を酌みつっ偲
ぶ春

田 哲人

俳句

【一般投稿】

白菜の確かな重さ夫の作

長堀 芳江

お供えに密柑乗れずに脇に座す

長堀 勉

風の中紅梅咲きし春そこに

友常 小蝶

令和5年

無料法律相談会 開催 2月26日(日)

初回無料・完全予約制です

弁護士法人
萩原総合法律事務所
筑西市乙8 28 番3 SATOHビル2階
(JR水戸線下館駅南口徒歩1分)



ご予約はこちらから

☎0296-48-8875



※初回の方限定とさせていただきます。
※事情によりお断りさせていただくこともございます。

茨城県弁護士会所属弁護士 萩原 慎二・平久 真・藤井 宏治/風見 美瑠